

無線機の断捨離

JA1WOB 齋藤

開局して半世紀が過ぎて、電源を入れなくなった無線機が多くなります。XYLからも、使わない物（ガラクタ）は処分してと、云われていました。私も古希を迎えて、大決断で断捨離する事にしました。今回、断捨離した、1970年代～1980年代の古い無線機で、一応送受信は可能なものでした。断捨離した無線機の思い出を振り返ってみたいと思います。

1、ミズホ通信 MK-610 50MHz AM/CWモード ポータブル機

この無線機は、1975年頃にキットとして購入しました、キットと云っても基板は完成していて、電源周りとANT周りのケーブルを配線して完成しました。

当時、50MHzもSSB化が進みつつあり、IC-502やTR-1300が出始めた頃です。

但し、50MHzのAM局もまだ多くRJX-601が幅を利かせている時代でした。MK-610にはCWモードがあったので、BFOがあり、RITで微調整して、SSBを聞くことが出来ました。

MK-610以前はTR-1000をプロダクト検波に追加改造して、SSBを聞いていましたが、所詮1:3のバーニャーダイヤルだったので、復調に苦労していました。また、TR-1000の水晶発振の固定送信周波数から、VFOによる可変送信も魅力でした。

アマ無線のアクティビティーは下がっていましたが、受信する事は何とか続けていた時代でした。川苔山の移動運用に持って行った時は、SSB局がAM局を上回って来た頃だったのですが、沢山のAM局からコール頂きました。

本格的に、再開局した1990年以降は毎週日曜の50MHz AMロールコールや年末のAMコンテストなどに使用していました。また、50.240SSBロールコールの際には、モニター用として使用していましたが、5年位前から電源が入る機会も少なくなり、AM変調もすごく浅くなり、AFのVRもガリオームになってしまいました。



2、日本電業 ライナー2 144mhz SSB モービル機

この無線機は、1972年に発売された、水晶シンセサイザーのSSBモノバンダー機で、鉄板のケースに入った頑丈な無線機です。

1980年前後に、友人から譲りうけて通勤モービルで使用していました。



1970年代に144MHzのFMモービルの経験から144の伝搬状況は分かっているつもりでしたが、SSBモービルはそれを遥かに超えるものでした。

羽村市からのモービル運用で、東北自動車道の久喜市を走る局と、簡単につながって、しまうのには驚きでした。

モービル運用では、144のSSBが今でも一番かと思っています。

このライナー2で毎年11月に行われる、泉州サバイバルコンテストなどにも参加して、十分に活躍出来る事を確認しています。

但し、新スプリアス保証のリストには、有りませんでした。

3、FT-690mk2+FL6020 八重洲無線 50MhzALLモード機 ポータブル機

1990年に再開局して、50.240SSBモービルグループに仲間入りして当初は、IC-726を固定/モービル兼用で使用していました。

当時の、240グループではTR-9300とFT-90MK2の局が多くいました、私もモービル専用機が欲しかったのですが、固定を買って間もない頃なので、私の小遣いではなかなか新品は手が出ませんでした。



そんな頃、1994年にトヨムラの新年特別セールで中古品が出る広告をCQで見て、冬の寒い朝早起きして、一番電車で秋葉原のトヨムラへ向かいました。既に並んでいる人がいて、いろいろと話しをする中で、FT-690MK2は2台あ

る模様でした。9時の開店と同時に店に飛び込み2階の中古売り場へ階段を駆け上がり、GETしました。

始めは、FT-690mk2単体でモービル運用をしたが、やはり2.5Wの出力は非力で、朝の通勤モービルでは同じ方向へ向う局との交信が精いっぱいでした。

通勤帰りに羽村のハムショップを覗くと、中古のFL6020があり、即購入して10W運用が可能となりました。

その後HL66Vを追加して、FT-690MK2+FL6020+HL66Vのシステムで50W局となりました。

また、山岳移動の時はFT-690MK2単体でQRVして、移動運用の楽しさを教えてもらった無線機です。

FT-817NDを購入するまでは、移動運用とモービル運用のメイン無線機でしたが、今はFT-817NDがメインとなり、シャックに置いたFT-690MK2+FL6020の電源が入る事が少なくなりました。

4、TR-1300 TRIO 50MHz SSB ポータブル機

50.240 SSBモービルグループ内で行われたジャンク市で入手したもので、この時既にFT-817NDも持っていたので、移動で使用する事なく固定に置いて、QRP運用機として使用しました。

TRIO製とあって深みのある受信音は気にしていました。

ベランダでツェップアンテナ

ナを調整する際に使用した時に、山岳移動局でいたが、福島まで1WでRS59レポートを貰い電波伝搬はパワーじゃ無いなと感じました。



終わり